

2021年 小平図書館友の会講演会

いのち 今、つたえたいこと

～コロナ・パンデミック 2年目の夏～



講師 中村桂子さん

《講師プロフィール》

東京都生まれ。東京大学理学部卒。理学博士。国立予防衛生研究所、三菱化成生命科学研究所、早稲田大学人間科学部教授、東京大学客員教授、JT生命誌研究館館長を経て、現在、同館名誉館長。

昨年、突如として始まった新型コロナ・パンデミックは、科学の発展を誇ってきた現代社会が、自然の脅威に翻弄される様をいやというほど見せつけました。

人類の歴史は、ウイルスとの闘い、共存の歴史でもあると言われます。科学を<生命の歴史物語>としてとらえる「生命誌」という考え方を生み出した科学者・生命誌研究者 中村桂子さんに、ひとについて、ウイルスについて、いのちについて語っていただきます。

【日時】 6月6日（日）午後1時30分～3時30分

【場所】 Web会議システム Zoom

【費用】 無料

【定員】 50人（先着順） 申込期間5月20日～31日

【主催】 小平図書館友の会

【後援】 小平市教育委員会

【問合せ】 042-343-4716（剣持）

【申込方法】 小平図書館友の会ブログに記載

<http://yamaoji.cocolog-nifty.com/kltomonokai/>

※ 申し込み受付後、Zoom会議 URLをメールで送ります。

【著書】

『生命誌とは何か』（講談社学術文庫 2014年）、『科学者が人間であること』（岩波新書 2013年）、『科学は未来をひらく 中学生からの大学講義 3』（ちくまプリマー新書 2015年）、『いのちのひろがり』（たくさんのふしぎ傑作集 福音館書店 2017年）『「ふつうのおんなの子のちから」 子どもの本から学んだこと』（集英社クリエイティブ 2018年）ほか多数。

生命誌研究館とは

<https://www.brh.co.jp/>

「生命誌」とは、人間も含めてのさまざまな生きものたちの「生きている」様子を見つめ、そこから「どう生きるか」を探る新しい知です。英語では“Biohistory”。地球上の生きものたちは38億年前の海に存在した細胞を祖先とし、時間をかけて進化し、多様化してきた仲間です。すべての生きものが細胞の中に、それぞれが38億年をどのように生きてきたかの歴史をしるすゲノムDNAを持っています。ゲノムDNAは壮大な生命の歴史アーカイブです。その歴史物語を読み解き、美しく表現することで、生きものの魅力を皆で分かち合い、生きることについて考えていく場が「研究館」“Research Hall”です。いのちを大切に作る社会づくりに努める仲間になってください。

図：生命誌から生まれた世界観



小平図書館友の会

図書館友の会は、図書館利用者がつくった会です。1998年設立。

会員 約130名

- ◆講演会 川本三郎さん「男はつらいよ を旅する」など年1~2回
- ◆チャリティ古本市 年1回（毎春の土、日 中央公民館ギャラリーにて）
- ◆見学会・文学・歴史散策 林芙美子記念館・坪内逍遙演劇博物館園など
- ◆5つの学習会

ハンディキャップサービス学習会／図書館について学ぶ会

声に出して本を読む会／YAを楽しむ会／読書サークル・小平